

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】令和6年11月11日(2024.11.11)

【国際公開番号】WO2022/106950

【出願番号】特願2022-563252(P2022-563252)

【国際特許分類】

C 01 B 32/182(2017.01)  
H 01 M 4/62(2006.01)  
H 01 M 4/13(2010.01)  
H 01 M 4/02(2006.01)  
H 01 M 4/36(2006.01)  
H 01 G 11/36(2013.01)

10

【F I】

C 01 B 32/182  
H 01 M 4/62 Z  
H 01 M 4/13  
H 01 M 4/02 Z  
H 01 M 4/36 A  
H 01 G 11/36

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年10月31日(2024.10.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

30

炭素原子で構成される9員環以上の多員環により構成される孔を有し、  
前記多員環を構成する前記炭素原子の一以上はフッ素により終端されるグラフェン。

【請求項2】

請求項1において、

ラマン分光法による分析において、1580 cm<sup>-1</sup>またはその近傍に観測される第1のピークと、1360 cm<sup>-1</sup>またはその近傍に観測される第2のピークと、を有するグラフェン。

【請求項3】

活物質粒子と、グラフェンと、を有し、

前記グラフェンは、炭素原子で構成される9員環以上の多員環により構成される孔を有し、

前記多員環を構成する前記炭素原子の一以上はフッ素により終端され、

前記グラフェンは、前記活物質粒子の表面の少なくとも一部を覆う電極。

【請求項4】

請求項3において、

前記グラフェンは、ラマン分光法による分析において、1580 cm<sup>-1</sup>またはその近傍に観測される第1のピークと、1360 cm<sup>-1</sup>またはその近傍に観測される第2のピークと、を有する電極。

【請求項5】

請求項3または請求項4において、

40

50

前記活物質粒子は、正極活物質粒子である電極。

【請求項 6】

請求項3乃至請求項5のいずれか一において、  
前記活物質粒子は、負極活物質粒子である電極。

【請求項 7】

請求項3乃至請求項6のいずれか一に記載の電極と、電解質と、を有する二次電池。

【請求項 8】

請求項7に記載の二次電池を有する電子機器。

【請求項 9】

請求項7に記載の二次電池を有する車両。

10

20

30

40

50